

浜の活力再生プラン (第Ⅱ期)

1 地域水産業再生委員会

組織名	住吉地区地域水産業再生委員会
代表者名	山本 敬一 (住吉漁業協同組合長)

再生委員会の構成員	住吉漁業協同組合、宇土市
オブザーバー	熊本県北広域本部水産課

対象となる地域の範囲及び 漁業の種類	宇土市住吉地区 海苔養殖業 32名、アサリ等採貝漁業 107名 (うち海苔養殖業 と兼業 32名) 述べ139名
-----------------------	--

※策定時点で対象となる漁業者数も記載すること

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

<p>住吉地区は、宇土市の有明海に面した静かな漁村地帯であり、海苔養殖業やアサリ等採貝漁業を基幹漁業としている。</p> <p>しかしながら近年、地球温暖化等による環境変化、魚価の低迷、燃油資材高騰、後継者不足などの影響により、水産業を取り巻く環境は厳しいものとなっている。海苔養殖業及びアサリ等採貝漁業いずれについても、年変動が大きく漁獲が安定していない。</p>

(2) その他の関連する現状等

<p>本地域は、潮の干満に関係なく使用できる漁港がないことから、出港や帰港が潮によって制限され、漁業者に大きな負担となっている。</p>
--

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

<p>【海苔養殖業】</p> <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海苔商社訪問等を行ない、ニーズを把握し、勉強会等を通じて認識を共有したうえで適切な生産管理を行い、品質向上に取り組んだ。これにより単価の向上につながった。
--

(課題)

・訪問できていない商社があることや、商社から先の需要動向が不明である等、まだ十分につかみきれないニーズ動向がある。

【採貝漁業】

(成果)

・漁場耕耘、アサリ保護区の設定、アサリ貝移植等を実施し、アサリ資源の回復に努めた。併せて、ナルトビエイ駆除を実施し、食害生物を除去した。これらの取り組みにより、アサリの生産量が増加傾向にある。

・網袋の設置による稚貝着底試験を行った。その結果、他地区と比較し生残率が低い結果が得られた。このため、採捕制限等の自主的な資源管理の取り組みに注力し、更なる資源増加を図ることができた。

(課題)

・資源回復及び漁獲状況は一定の回復がみられたものの、依然として不安定である。

【加工品開発等】

(成果)

・天日干し海苔の製造・販売に取り組んだ。その結果、3年間で100万円以上の売上げを得た。

・海苔佃煮の製造・販売に取り組んだ。その結果、年間100万円以上の売上げを得た。

(課題)

・天日干し海苔については、作業日が天候に左右される等の理由により、作業者の確保が難しく、生産計画策定に苦慮した。一方、海苔佃煮の製造・販売は軌道に乗ったため、女性部事業として独立することができた。このため、今後の取り組みでは天日干し海苔のみを取り扱う。

【コスト削減の取組】

(成果)

・機器導入事業等を活用し、高性能全自動海苔乾燥機や高性能海苔刈取船の導入を推進し、効率的な海苔の生産・加工を行い、生産量の増加及び燃油削減を図ることができた。さらに、燃油高騰に備え、漁業経営セーフティネット構築事業の加入を促進した(45名加入)。

・海苔生産のコスト削減・集約化を目指し共同乾燥施設の導入検討会等を実施した。その結果、生産者の理解が深まり、熊本県漁業協同組合連合会を事業主体とした住吉地区における共同乾燥施設整備の計画検討に進展した。

・漁船の船底清掃及び減速航行を実施し燃油削減に取り組んだ。

(課題)

・燃油高騰に備えた取組みや減速航行などの燃油削減の取組みは、まだ推進の余地がある。

(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

<p>①海苔の品質及び単価向上等</p> <ul style="list-style-type: none">・ニーズの把握、適切な生産管理及び設備投資等により品質向上や単価向上及び天日干し海苔生産に取り組む。 <p>②漁場環境の保全と資源量の増大</p> <ul style="list-style-type: none">・有害生物の駆除、干潟の耕うん及び適切な資源管理等を実施し、漁場回復及び水産資源の回復を図る。 <p>③経費削減</p> <ul style="list-style-type: none">・全自動海苔乾燥機高性能化や高性能海苔刈取船等導入を促進し、一層のコスト削減を行う。・漁業経営セーフティネット構築等事業の加入促進を図る。・減速航行及び操業時間の短縮等により燃油コストの削減を図る。

(3) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

<p>【海苔養殖業】</p> <p>漁場改善計画に基づき適性養殖可能数量を設定している。また、生産管理等の取組みを検討し厳守していく。</p> <p>【採貝漁業】</p> <p>県漁業調整規則や委員会指示を踏まえ、行使規則により採捕目合、採捕量、採捕期間を設定している。また、アサリ・ハマグリに関しては、操業時間も自主的に短縮し、また、漁獲サイズも設定して資源管理に努めている。</p>

(4) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1年目（令和元年度）

以下の取組みにより漁業所得を基準年比2.4%向上させる。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>以下の取組みにより漁業収入を基準年より0.66%向上させる。</p> <p>【海苔養殖業】</p> <p>海苔商社のニーズを把握し、それに合った製品づくりに取り組むために勉強会、講習会を開催し、生産者全員が製品作りの共通認識を得て加工することにより単価の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none">・生産者全員が海況にあわせた適切な海苔網の高さ管理を徹底し、品質向上と病気の蔓延防止に努めるとともに、病気の発生を早期に発見し対策を講じることで品質低下を防止する。・高性能全自動海苔乾燥機や高性能海苔刈取船の導入を促進し、生産の安定
---------------------	---

	<p>化、品質の向上及び単価向上を図る。</p> <p>【採貝漁業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アサリ資源管理計画に基づき、アサリ資源の回復に取り組む。 ・アサリ等二枚貝を捕食するナルトビエイ等有害生物を除去し、アサリ等の資源回復を図る。 ・漁場耕うんを実施し、漁場環境を改善することで水産資源の増大を図る。 ・清掃活動等による海域環境の改善や二枚貝類の資源回復に向けた取組みを積極的に行う。
漁業コスト削減のための取組	<p>以下の取組みにより漁業コストを基準年より 0.04%削減する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃油高騰に備え、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を促進する。 ・省エネ機器（漁船エンジン、全自動海苔乾燥機）の導入を推進し、燃油使用量の削減を図る。 ・漁船の船底清掃を行い、また漁場までの減速航行を実施し燃油削減に取り組む。
活用する支援措置等	<p>水産多面的機能発揮対策事業、水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業、競争力強化型機器等導入緊急対策事業、漁業経営セーフティネット構築事業、有害生物漁業被害防止総合対策事業</p>

2年目（令和2年度）

以下の取組みにより漁業所得を基準年比4.9%向上させる。

漁業収入向上のための取組	<p>以下の取組みにより漁業収入を基準年より 0.66%向上させる。</p> <p>【海苔養殖業】</p> <p>海苔商社のニーズを把握し、それに合った製品づくりに取り組むために勉強会、講習会を開催し、生産者全員が製品作りの共通認識を得て加工することにより単価の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者全員が海況にあわせた適切な海苔網の高さ管理を徹底し、品質向上と病気の蔓延防止に努めるとともに、病気の発生を早期に発見し対策を講じることで品質低下を防止する。 ・高性能全自動海苔乾燥機や高性能海苔刈取船の導入を促進し、生産の安定化、品質の向上及び単価向上を図る。 <p>【採貝漁業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アサリ資源管理計画に基づき、アサリ資源の回復に取り組む。 ・アサリ等二枚貝を捕食するナルトビエイ等有害生物を除去し、アサリ等の資源回復を図る。
--------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・漁場耕うんを実施し、漁場環境を改善することで水産資源の増大を図る。 ・清掃活動等による海域環境の改善や二枚貝類の資源回復に向けた取組みを積極的に行う。
漁業コスト削減のための取組	<p>以下の取組みにより漁業コストを基準年より 0.04%削減する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃油高騰に備え、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を促進する。 ・省エネ機器（漁船エンジン、全自動海苔乾燥機）の導入を推進し、燃油使用量の削減を図る。 ・漁船の船底清掃を行い、また漁場までの減速航行を実施し燃油削減に取り組む。
活用する支援措置等	水産多面的機能発揮対策事業、水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業、競争力強化型機器等導入緊急対策事業、漁業経営セーフティネット構築事業、有害生物漁業被害防止総合対策事業

3年目（令和3年度）

以下の取り組みにより漁業所得を基準年対比7.3%向上させる。

漁業収入向上のための取組	<p>以下の取組みにより漁業収入を基準年より 0.66%向上させる。</p> <p>【海苔養殖業】</p> <p>海苔商社のニーズを把握し、それに合った製品づくりに取り組むために勉強会、講習会を開催し、生産者全員が製品作りの共通認識を得て加工することにより単価の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者全員が海況にあわせた適切な海苔網の高さ管理を徹底し、品質向上と病気の蔓延防止に努めるとともに、病気の発生を早期に発見し対策を講じることで品質低下を防止する。 ・高性能全自動海苔乾燥機や高性能海苔刈取船の導入を促進し、生産の安定化、品質の向上及び単価向上を図る。 <p>【採貝漁業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アサリ資源管理計画に基づき、アサリ資源の回復に取り組む。 ・アサリ等二枚貝を捕食するナルトビエイ等有害生物を除去し、アサリ等の資源回復を図る。 ・漁場耕うんを実施し、漁場環境を改善することで水産資源の増大を図る。 ・清掃活動等による海域環境の改善や二枚貝類の資源回復に向けた取組みを積極的に行う。
--------------	--

<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>以下の取組みにより漁業コストを基準年より 0.04%削減する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃油高騰に備え、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を促進する。 ・省エネ機器（漁船エンジン、全自動海苔乾燥機）の導入を推進し、燃油使用量の削減を図る。 ・漁船の船底清掃を行い、また漁場までの減速航行を実施し燃油削減に取り組む。
<p>活用する支援措置等</p>	<p>水産多面的機能発揮対策事業、水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業、競争力強化型機器等導入緊急対策事業、漁業経営セーフティネット構築事業、有害生物漁業被害防止総合対策事業</p>

4年目（令和4年度）

以下の取り組みにより漁業所得を基準年比9.8%向上させる。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>以下の取組みにより漁業収入を基準年より 0.66%向上させる。</p> <p>【海苔養殖業】</p> <p>海苔商社のニーズを把握し、それに合った製品づくりに取り組むために勉強会、講習会を開催し、生産者全員が製品作りの共通認識を得て加工することにより単価の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者全員が海況にあわせた適切な海苔網の高さ管理を徹底し、品質向上と病気の蔓延防止に努めるとともに、病気の発生を早期に発見し対策を講じることで品質低下を防止する。 ・高性能全自動海苔乾燥機や高性能海苔刈取船の導入を促進し、生産の安定化、品質の向上及び単価向上を図る。 <p>【採貝漁業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アサリ資源管理計画に基づき、アサリ資源の回復に取り組む。 ・アサリ等二枚貝を捕食するナルトビエイ等有害生物を除去し、アサリ等の資源回復を図る。 ・漁場耕うんを実施し、漁場環境を改善することで水産資源の増大を図る。 ・清掃活動等による海域環境の改善や二枚貝類の資源回復に向けた取組みを積極的に行う。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>以下の取組みにより漁業コストを基準年より 0.04%削減する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃油高騰に備え、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を促進する。 ・省エネ機器（漁船エンジン、全自動海苔乾燥機）の導入を推進し、燃油使用量の削減を図る。 ・漁船の船底清掃を行い、また漁場までの減速航行を実施し燃油削減に取り組む。

活用する支援措置等	水産多面的機能発揮対策事業、水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業、競争力強化型機器等導入緊急対策事業、漁業経営セーフティネット構築事業、有害生物漁業被害防止総合対策事業
-----------	--

5年目（令和5年度）

以下の取り組みにより漁業所得を基準年比12.2%向上させる。

漁業収入向上のための取組	<p>以下の取組みにより漁業収入を基準年より0.66%向上させる。</p> <p>【海苔養殖業】 海苔商社のニーズを把握し、それに合った製品づくりに取り組むために勉強会、講習会を開催し、生産者全員が製品作りの共通認識を得て加工することにより単価の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産者全員が海況にあわせた適切な海苔網の高さ管理を徹底し、品質向上と病気の蔓延防止に努めるとともに、病気の発生を早期に発見し対策を講じることで品質低下を防止する。 高性能全自動海苔乾燥機や高性能海苔刈取船の導入を促進し、生産の安定化、品質の向上及び単価向上を図る。 <p>【採貝漁業】</p> <ul style="list-style-type: none"> アサリ資源管理計画に基づき、アサリ資源の回復に取り組む。 アサリ等二枚貝を捕食するナルトビエイ等有害生物を除去し、アサリ等の資源回復を図る。 漁場耕うんを実施し、漁場環境を改善することで水産資源の増大を図る。 清掃活動等による海域環境の改善や二枚貝類の資源回復に向けた取組みを積極的に行う。
漁業コスト削減のための取組	<p>以下の取組みにより漁業コストを基準年より0.04%削減する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃油高騰に備え、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を促進する。 省エネ機器（漁船エンジン、全自動海苔乾燥機）の導入を推進し、燃油使用量の削減を図る。 漁船の船底清掃を行い、また漁場までの減速航行を実施し燃油削減に取り組む。
活用する支援措置等	水産多面的機能発揮対策事業、水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業、競争力強化型機器等導入緊急対策事業、漁業経営セーフティネット構築事業、有害生物漁業被害防止総合対策事業

(5) 関係機関との連携

取組みの効果が発揮できるよう、県や市、熊本県漁業協同組合連合会とノリ・アサリ現場調査及び勉強会等で連携し、漁業者の漁業所得の向上に努めたい。

4 目標

(1) 所得目標

漁業所得の向上 10%以上	基準年	
	目標年	

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

(3) 所得目標以外の成果目標

単価の向上 (海苔1枚当り単価の向上)	基準年	
	目標年	

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

--

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
水産多面的機能発揮 対策事業	干潟耕耘、有害生物の除去等を実施し、漁場環境の回復を図るとともに、種苗放流を行い水産資源の増加を図る。
有害生物漁業被害防 止総合対策事業	二枚貝を捕食する有害生物（ナルトビエイ、ツメタ貝）を駆除し、資源回復を図る。
有明海二枚貝類等成 育環境調査事業	二枚貝を捕食する有害生物（ナルトビエイ等）を駆除し、資源回復を図る。

ナルトビエイ駆除事業	二枚貝を捕食する有害生物（ナルトビエイ等）を駆除し、資源回復を図る。
水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業	高性能海苔刈取船導入により作業効率化及びコスト削減等を図る。
競争力強化型機器等導入緊急対策事業	省エネタイプの漁船エンジン、海苔全自動乾燥機導入より燃油コスト削減を図る。
漁業経営セーフティネット構築事業	燃油高騰による経費増加を抑制する。
浜の活力再生交付金（水産業強化対策事業）	ノリ共同乾燥施設の導入により、乾燥作業の集約効率化及びコスト削減等並びに生産量の増大を図る。